

令和元年度 農業農村整備事業 再評価調書

事業名	国営附帯県営農地防災事業	ふりがな 地区・路線名	なかがわ いまづ 那賀川・今津地区
事業主体	徳島県	関係市町村	小松島市・阿南市
事業概要	<p>(事業目的)</p> <p>本地区は、県南東部に位置する低平水田地帯であり、水稻を中心とした優良農業地帯であるが、近年の都市化・混住化に伴う、地区内用水路への生活雑排水の流入により、農業用水の水質が悪化してきている。また、本用水路は老朽化が著しく、流下能力が低下しており、水路内の土砂堆積や生活排水等の滞留が発生し、水稻等の栽培に支障をきたしている。</p> <p>このため、用水路の通水機能を回復し、農業用水の水質保全対策を行うことで、農業生産の維持及び農業経営の安定化を図る。</p>		
	<p>(事業内容)</p> <p>受益面積 218.5ha 受益戸数 2,371戸 主要工事 幹線水路工 3.4km 総事業費 699,100千円 (国55%、県35%、市10%) 工期 平成27年度～令和3年度</p>		
評価	<p>(事業の進捗状況)</p> <p>平成30年度までに幹線水路2.3kmの整備が完了している。 令和元年度末の事業費進捗率は30%である。</p>		
	<p>(関連事業の進捗状況)</p> <p>・国営総合農地防災事業 那賀川地区 (H8～R3) R元末進捗率 87.2% 頭首工1箇所、幹線用水路16.2km、支線用水路1.8km</p>		
	<p>(社会経済情勢の変化)</p> <p>計画時点と比較し、基本的に農地面積、営農状況等の変化はないが、本事業による農業用水の水質保全対策により、農業生産の維持及び農業経営の安定化を図る。</p>		
項目	<p>(計画上重要な部分の変更の必要性の有無)</p> <p>特になし。</p>		
	<p>(費用対効果の分析)</p> <p>用水施設が新設又は更新整備されることにより、水質汚濁の未然防止及び現況施設の機能維持が図られ、作物生産量増加、営農経費軽減等の効果が見込まれる。</p> <p>総費用総便益比＝総便益（現在価値化）／総費用（現在価値化）＝2.25</p>		
目	<p>(受益農家、関係機関の意向)</p> <p>安定した営農の確立のため、地元農家や小松島市・阿南市からは事業の早期完成を強く要望されている。</p>		
	<p>(事業の実施方針)</p> <p>継続して事業を実施する。</p>		